

豆まきの日、子どもたちが自分で作った鬼の被りものを付け歌っていると…「うお～!!」と赤鬼、青鬼が現れ、遊戯室はパニックに! 突然のことで呆然と立ち尽くしている子、恐怖のあまり震えながら泣いている子、鬼に豆を投げ果敢に向かっていく子…様々でしたが、友達と一緒になら…と勇気を出し、「鬼はそと～! 福はうち～!」と大きな声で鬼を退治しました。

「もう悪いことはしません<m(_)_m>」と謝る鬼と仲直りし、豆まき(お菓子まき)をしたり、写真を撮ったりして過ごしました。



節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように…」という意味をこめて、悪いものを追い出す日。季節の分け目には、悪いものが現れやすいといわれています。その悪いものが「鬼」だそうです。鬼と聞いたら、どんな姿を思い浮かべますか? 実は、もともと鬼の姿は決まっておらず、いろいろなお話を通じて、だんだん今の姿になっていったそうです。

幼稚園の豆まきで、子どもたちは自分の中にいた鬼(泣き虫鬼、怒りんぼ鬼、忘れんぼ鬼、早くしない鬼、野菜食べない鬼)を退治したようですが…。



病気になる鬼もしっかり退治したので、残り少ない3学期をお休みなしないで過ごせるといいですね!

さて、どうして炒った豆(火を通した豆)を投げるのでしょうか? もし火を通さずに、そのまま豆をまいて目が出てしまったら大変! 目が出て追い出したはずの悪いものが育たないように、炒った豆を使うそうです。



「鬼はそと!」「鬼はそと!」



拾ったお菓子が袋がいっぱいに!



お菓子を並べてみると…こんなに長くなりました。



「こんなことができるようになったよ!」

今年度最後の参観日。お忙しい中、足を運んで下さりありがとうございました。子どもたちは、お家の人と一緒に遊びたくて、頑張っていることやできるようになったことを見せたくて参観日を待っていました。

当日は、縄跳び、ドッジボール、かくれんぼ、竹のぼり、紐ゴマ回し、赤白ゲーム…各学年とも親子で体や頭を動かして楽しむ様子が見られました。子どもたちの顔もいつも以上にニコニコしていました。

「できなかったことができるようになっていく!」「あきらめないで頑張る気持ちがでてきたなあ」と子どもの成長を感じているお家の方の声も聞かれ、子どもたちにとって実りある1年間だったのだと嬉しく思います。



こびと…幼稚園に現る!!



長い間、ほし組で盛り上がっている“こびと探し”。

図書館で借りた『こびとづかん』を4人で頭を寄せ合い、図鑑の中のちょっと気味の悪いこびとたちを凝視しながら「本当にいるのかなあ」「どこにいるんだろう」とつぶやく声を担任は聞き逃しませんでした。

そうはいっても探してもいるはずのない“図鑑の中のこびと”。でも、担任は、子どもたちのワクワクした気持ちを大切にすることが、興味関心を深めたり、友達と思いを出し合ったり、明日の遊びへの期待をもって登園することに繋がると考えました。

そこで、こびとの存在をにおわす為、きれいに片付けたはずの部屋をわざと散らかした担任。外遊びから戻ってきた子どもたちは部屋の様子を見ると「こびとのいたずらかも!」と大興奮。こびと図鑑を持って“こびと探し”が始まりました。

それから毎日、子どもたちは“こびとを見つけるための作戦会議”に夢中です。こびとをおびき寄せるためのしかけを作ったり、こびとについてもっと詳しく調べようと図書館に行ったり、こびとに手紙も書きました。すると…なんということでしょう! 畑にこびとの抜け殻を発見したのです。(子どもたちには絶対に秘密にしてほしいのですが、担任が手作りしました。) 図鑑の中のこびととまったく同じ色、形、大きさ。でも一つ違うのは、顔がありません! するとまた「なんで顔がないの!」「怖いよ!」「これはきっとお洋服なんだよ!」

「じゃあ、裸んぼで逃げてるってこと!」などドキドキワクワクが止まりません。

毎日登園すると、こびとから手紙が来ていたり、侵入した形跡があったりするなど、ほし組から始まった“こびと探し”の楽しさは、他の学年や先生たちの心までも魅了し続けています。今後の展開にますます目が離せません!

こびと図鑑をみながら、「どこにいるかな?」と作戦会議。



「片づけはすなのに…」いつもの部屋と違うぞ!



こびとづかんに夢中の2人。



「こびとが…でも、顔がないよ!」抜け殻だよ～



木にもくもときこびとの抜け殻を発見!

小学校の遊具は大きいな!



幼稚園の隣にあってもなかなか遊びに行くことがなかった熱川小学校。お世話になった小学生に“ありがとう”のお手紙を渡しながら、校庭で遊ばせてもらいました。

高い鉄棒や登り棒、大きなタイヤ、幼稚園にないシーソーは大人気でした。初めての遊具に挑戦していたそら組。小学校にはまだまだ知らない楽しいことがたくさん待っていますよ。少しの時間でしたが、楽しく遊んだことで小学校へのわくわくした気持ちや期待がさらに膨らんだと思います。

これからは、隣に小学校がある環境をいかして、遊びに出かけたいと思います。

